



# T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリークラブ



『エンジョイ ローター』

～Enjoy Rotary～

東京六本木ロータリークラブ会長

## W E E K L Y R E P O R T

『夢をかたちに』

～ Make Dreams Real～  
国際ロータリークラブ会長

発行日 2009年6月8日

No. 40

平成21年5月18日

卓話『世界の金融 日本の金融』

東京六本木ロータリークラブ 会員

藤井 卓也 様

金融の仕組みや働きは、身体に譬えると心臓や血管等で形成される循環器系組織によく似ています。

世界の金融、経済は今、“100年に一度”と冠される危機の真っ只中にありますが、これは急激な運動の後に心臓がバクバクする一過性の苦しみ（景気過熱の後の不況）とは異なり、長年の生活習慣、不摂生（米国の過剰借入、過剰消費等）がたまって脳内出血を起こし全身の機能が急激に低下（金融不安が実体経済の不振をもたらし、それが更に金融の悪化を招く“負の連鎖”が発生）している状況です。当初の各国政府、中央銀行の対応は、“too little, too late”でしたが、昨年9月に米国投資銀行リーマンブラザーズが破綻し全世界を巻き込んだ金融不安に直面して以降は、主要国が連帯して“応急措置を総動員”したことが功を奏して、このところ小康状態を保っています。例えば株価や原油その他主要商品価格が2～3月を底に回復に転じ、生産活動も在庫調整の進捗から幾分持ち直しています。

しかし、これで“すんなりと”快方に向かうかといえ、私の見立ては違います。現在の危機は、単純な需給の不均衡から生じた一過性のものではなく、もっと深い所に根差しています。伝統的な銀行業の衰退と新しい金融ビジネス（ファンドや証券化等）の興隆、マーケット至上主義への傾斜（規制監督の緩和、撤廃）と金融グローバル化の進展、過剰借入や過剰消費という生活習慣病の進行、成果主義やインセンティブ経営の横行等々が挙げられます。

こうした要素を取り除き健全かつ柔軟な金融システム再構築に向けての話し合いが、主要国の監督当局の間で始まっています。規制対象の拡大、会計の見直し、監督プログラムの向上とりわけモニタリング態勢の強化、自己資本の充実、リスク管理の改善、更には金融機関経営の根本理念の見直しやグローバルな規制監督の連携強化も検討課題となっています。これらの改革を実現すること

は並大抵の努力では叶いませんし、時間も掛かります。そこで最も大事なことは、改革された金融システムのもとで、金融業が一般の人々や企業にとって真に役立つ存在となり、かつ安定的に適切な利潤を得ることが出来るかどうかです。その実現のためには、消費者や企業の意識や行動の見直し、効用の高い政府の組成、各国間の協調と連携が必要であり、“One for All, All for One”の精神が不可欠です。



それでは日本はどうしたらいいのでしょうか。日本の金融機関の不良債権は、欧米に比べ桁少ない状況です。しかし、実体経済の状況は、輸出の急減によって主要国中一番深刻です。ですから、まずこれ以上実体経済が冷え込まないようにすることが、喫緊の課題です。迅速で大幅な財政出動が求められますが、これまでのところ“スピード感に問題あり”です。大型の補正案が衆議院を通過しましたが、本当にこれで大丈夫でしょうか。財政赤字が大幅であることを考慮すると、潜在成長率の引き上げにつながり財政収支の好転が見込める施策が望まれます。このように“甲斐より始めて”自国の経済の先行き不安を払拭するとともに、金融力の強化（主体間、空間、時間の架け橋となる信用仲介、市場機能の強化、育成）に不断に取り組むことが必須です。世界第二位の日本の金融経済が安定することは、世界の金融経済の安定にも大きく貢献します。長い眼で見て最も大事なことは、日本の生活習慣——伝統、文化と言ってもいいでしょうが——に培われた和の心（“もったいない”、“足るを知る”、“人様に迷惑をかけない”、“和を以って貴しとなす”等々）を世界に広めようというチャレンジ精神ではないでしょうか。



## ■ ニコニコBOX情報

- 吉田 晋さん(東京西RC)  
浅田会長のご指示により、生意気にも卓話をさせて頂きます。宜しくお願い申し上げます。
- 小笠 裕子さん  
吉田様 本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。
- 角山 一俊さん  
先週神戸でお茶会でした。お茶は心が落ちつきますね。
- 宇佐見 千嘉さん  
久しぶりのロータリーです。
- 柏原 玲子さん  
本日は、衣替えの日です。紫陽花もとてもきれいに咲いています。
- 小嶋 禮子さん  
いよいよ本年度も最終月となりました。一年間で協力ありがとうございました。
- 小西 恭子さん  
吉田晋様、本日の卓話を楽しみにさせていただいております。
- 安間 百合子さん  
吉田先生、本日は、ありがとうございます。次世代を担う「中高生の現状」真剣にうかがわせて頂きます。
- 大橋 寛治さん  
もう、6月になりました。梅雨が間もなくくると思われますので、皆様ご自愛下さい。
- 岡田 達雄さん  
先週は、ガイアシンフォニーのお手伝いで例会を欠席しました。
- 竹内 和弘さん  
今年度最終月 お互い頑張りましょう。
- 山中 祥弘さん  
吉田様の卓話、楽しみにしていました。
- 脇若 英治さん  
いよいよピック(還暦)です。
- 安井 悦子さん  
吉田晋様、私自身一昨年母校の私立中学高校で講演をした経緯から、本日のお話に大変興味を感じておりました。拝聴させて頂きます。

## ■ 本日のプログラム

平成 21 年 6 月 8 日  
卓話 『食品ロスの現状と削減に向けた  
対応方向について』  
農林水産省総合食料局食品産業企画課  
食品環境対策室長 谷村 栄二 様

## プロフィール

平成 3 年 4 月 農林水産省入省  
平成 10 年 9 月 経済局国際部国際経済課課長補佐  
平成 13 年 4 月 総合食料局食料政策課課長補佐  
平成 15 年 11 月 中国四国農政局企画調整室企画官  
平成 17 年 10 月 林野庁経営課課長補佐  
平成 18 年 7 月 大臣官房企画評価課調整官  
平成 20 年 4 月 現職に就任

## ■ 次回のプログラム

平成 21 年 6 月 15 日  
卓話 『東京オリンピック・パラリンピック招致  
「アーティストの草の根活動による支持率倍増」』  
Contemporary Japan 代表  
前田 智之 様

石上 和敬さん  
久しぶりの出席です。宜しくお願い申し上げます。

渡邊 滋さん  
夏が近いのでしょうか。  
「雲の峰 風なき海を 渡りけり」 夏目漱石

6月1日 合計 80,000円  
累計 3,316,000円

## クラブからのお知らせ

## [ 6 月 1 日例会 ]

- 幹事
  - 環境局より「エコライフ・フェア2009」のブース参加案内が参りましたので、資料を配布いたしました。
  - 本日はピアニストの清水さんが入院の為、前任者の細貝さんに応援に来ていただきました。
  - 本日例会後、新旧合同理事会が開催されます。
- 親睦活動委員会
  - 6月29日の年度末夜間例会の締切りが6月9日(火)です。ご家族、ご友人もお誘いいただき大勢の方のご出席をお願いいたします。
- ロータリー情報委員会
  - 「ロータリーの友6月号」が配布されました。今回はP5~の『YOUR BEST SHOTS』のナイロビの写真に強く心打たれるものがありました。皆さま是非お読み下さい。
- 新世代委員会
  - 7月28日、インターアクトクラブ年次大会が開催されますので、登録のご協力をお願いします。
- 米山奨学委員会
  - 今年度は全会員の方から総額67万5千円の寄付を頂きました。ご報告とお礼を申し上げます。

## 〈理事会報告〉

- 『協議事項』
  - 週報及びホームページのリニューアルについて、全員一致で次年度への申し送りとし、より良いものを作って欲しいと希望した。
  - 会長より地区基金の経緯及び地区基金規定について説明があり、会長一任とする事となった。
- 『報告事項』
  - 齋藤幹事より、全委員会からの活動報告書が提出されたことが報告された。
  - 三田次年度幹事より次年度委員会活動計画について説明があり、次年度の方向性が示された。
  - 脇若会員より休会の申し入れがあったことが報告され、理事会で承認された。
  - 岡田実行副委員長より五周年記念事業について、途中経過が報告された。
  - ロータリー財団親善奨学生の募集要項の変更があったことが報告された。自クラブは、応募された古川さんをこれからもサポートする事を全員で確認した。

## 東京六本木ロータリークラブ

会長 浅田 豊久 幹事 齋藤 明子

広報・週報 片岡 雅敦  
委員長広報・週報 安井 悦子  
委員長事務局 〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL: <http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>